

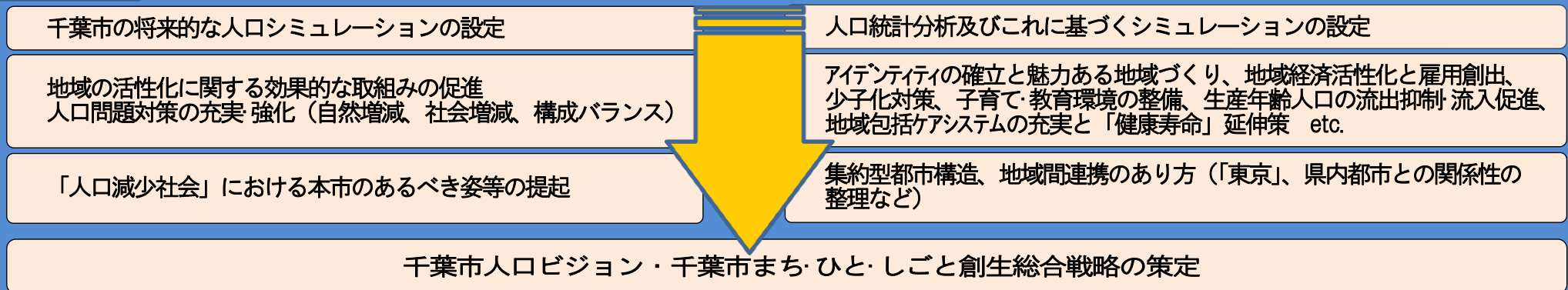
## 1 本市の状況

- 千葉市の将来人口は、平成32年（2020年）に97万4千人に達したのち減少に転じ、平成52年（2050年）には87万2千人と推計。
- 行政区別人口では、中央区及び緑区は当面の間、人口が増加するが、その他の区は減少。
- 年齢3区分別人口では、年少人口及び生産年齢人口が減少するとともに、高齢者人口は増加し、平成32年には高齢者人口に占める75歳以上人口の割合が過半数となる。
- そうした状況の下、「東京圏」に立地する本市は、「東京一極集中の是正」を掲げる国の「地方創生」の取り組みが進められるなかでは、微妙な「立ち位置」となっている。

## 2 目的

- (1) 既に、中期的なスパンで本市の人口減少が現実のものとなり、また、高度経済成長期の急激な人口膨張の影響から急速に高齢化が進行することが想定され、都市、地域社会の「姿」そのものが変化することが必至と考えられる中、地域を活性化し、持続可能なまちづくりを推進していくための施策・取り組みについて全庁的な総合調整を行う。
- (2) 有識者（「産官学金労言」）や、広く市民の意見を取り入れながら、本市の実情・課題を分析し、全市的に施策を推進していく体制を構築する。
- (3) 国の設置した「ひと・まち・しごと創生本部」及び県と連動・連携した施策の全庁一体的な推進を図る。

## 3 役割機能



## 4 運営、進め方

「千葉市まち・ひと・しごと創生推進本部」を設置し、地方「人口ビジョン」や本市版「総合戦略」の策定及び国「緊急経済対策」への対応を進めていくこととし、推進のために必要な体制整備（組織・人事的な対応を含む。）を図る。

- (1) 構成員（事務局）  
本部長：市長、副本部長：副市長、本部長：庁議構成員（事務局：政策企画課）
- (2) 部会  
副市長を部会長に、関係部長などによる実務的な検討等を行う部会を設置する。  
・総合戦略策定部会：「人口ビジョン」「地方版総合戦略」策定に関することを所掌する。（事務局：政策企画課）  
・地域活性化・ひとづくり応援カタログ商品券事業推進部会：「地域住民生活等緊急支援のための交付金（地域消費喚起・生活支援型）」に関することを所掌する。（事務局：経済企画課）  
※ このほか、必要に応じてワーキンググループを設置するなどし、検討を進める。
- (3) 市民・有識者等の意見反映  
① 「産官学金労言」及び住民代表などからなる有識者等会議の開催  
② 「人口ビジョン」「総合戦略」策定のための調査においてアンケート等を実施  
③ 千葉県及び県内都市との連絡会議の開催  
④ 議会からの意見聴取及び調整（「議会における審議等」）  
このほか、今後、広く市民を対象とした、「認識の共有」を目的とする事業の実施（ex. 「フォーラム」的事業の開催等）について検討する。